

市議会だより

第143号



「天空の里・あかいしゅかいクラブ」のみなさん

もくじ

- 第4回定例会で審議した議案とその結果など … P 2～P 5
- 市政に反映、皆さんの声（一般質問） … P 6～P 14
- 各委員会の議案等の審査結果、議会のうごきなど … P 15～P 17
- インタビュー、編集後記 … P 18



令和4年第4回(12月)定例会 11/30~12/20 21日間

本定例会では、条例の制定や一部改正、令和4年度一般会計補正予算など、20件の議案について審査を行い、次のとおり決定しました。

■本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第68号	日田市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	原案可決(多数)
議案第69号	日田市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	//
議案第70号	日田市一般職員の定年等に関する条例等の一部改正等について	原案可決(全会一致)
議案第71号	日田市一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	//
議案第72号	日田市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	原案可決(多数)
議案第73号	日田市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	//
議案第74号	日田市営特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第75号	財産の取得について	//
議案第76号	財産の譲渡について	//
議案第77号	日田市交流・コミュニティセンターの指定管理者の指定について	//
議案第78号	令和4年度日田市一般会計補正予算(第5号)	修正可決(全会一致)
議案第79号	令和4年度日田市診療所事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第80号	令和4年度日田市一般会計補正予算(第6号)	//
議案第81号	日田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意(全会一致)
請願第4号	教職員が保護者や地域とつながり、地域に根ざした学校教育活動ができるための環境づくりに係る意見書の提出を求める請願	採択(多数)
請願第5号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を採取しないことなどを求める意見書案提出の請願	//
請願第6号	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出を求める請願	不採択(賛成少数)
議員提出議案第6号	日田市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決(多数)
意見書案第4号	教職員が保護者や地域とつながり、地域に根ざした学校教育活動ができるための環境づくりを求める意見書	//
意見書案第5号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を採取しないこと等を求める意見書	原案可決(全会一致)

【議案第78号 令和4年度日田市一般会計補正予算(第5号)の修正可決について】

本議案のうち、3款3項「総合的な子ども支援拠点創設事業」について、委員会審査の結果、議論の余地が多く残されていることから、本会議において、提案された予算(施設建設のための実施設計委託料)の全額を減額修正する旨、報告があり、報告された修正案が全会一致で可決となった。(委員会審査の詳細は、P15の「教育福祉委員会」欄をご覧ください。)



令和4年第4回定例会 賛否の状況

議案番号	議決結果	賛否 ※1		会派名等、議員名及び賛否の別																				
		賛	反	市政クラブ						市民クラブ				新世ひた		日本共産党		公明党		無所属				
				財津 幹雄	岩見 泉哉	安達 明成	梅原 竜也	佐藤 功	原田 裕文	宮崎 陽治	溝口 千壽	井上 正一郎	梶原 信幸	中島 章二	飯田 茂男	石橋 邦彦	居川 太城	三苫 誠	大谷 敏彰	日隈 知重	松野 勝美	坂本 茂	坂本 盛男	中野 哲朗
議案第68号	可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	○	欠	○	○	○
議案第69号	可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	○	欠	○	○	○
議案第72号	可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	○	欠	○	○	○
議案第73号	可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	○	欠	○	○	○
請願第4号	採択	10	9	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○
請願第5号	採択	15	4	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号	不採択	6	13	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第6号	可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第4号	可決	10	9	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 「○」は賛成、「●」は反対（不賛成）、「欠」は欠席を表します。

※2 議長（石橋邦彦）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

賛否の主な討論の内容

■議案第68号、69号（反対討論）

条例案では、個人情報本人の知らないうちに収集され、加えて思想、信条、宗教、病歴、犯罪被害情報などの情報収集ができるようになる可能性がある。また、オンライン連携を禁止する原則がなくなり、情報漏えいの危険性が増すことも考えられる。デジタル時代に、個人データを活用する必要性は否定しないが、個人の監視に使われる可能性が消えないことから条例案に反対するもの。また、議案第69号についても、議案第68号に関連することから反対するもの。

■請願第4号（賛成討論）

新採用から短期間のうちに頻繁に地域間の異動を繰り返すことは、日田の教育のためになるとは言えず、早急に改善を求めるとともに、多くの対象者にとって、この頻繁かつ行き過ぎた広域人事が不公平感や負担になっていることは明らかだと考える。広域間異動は必要だと考えるが、教職員人生の中で、異動時期や地域を選択できるようなルールに変えていく必要があり、県下の周辺部に位置する日田市の学校教育の将来を安心できるものとするため賛成するもの。

■議案第72号、73号（反対討論）

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響やサプライチェーンなどが日本経済に大きな影響を与えることを踏まえた人事院勧告であったが、今年はこれにロシアのウクライナ侵攻や異常な円安政策も加わって、物価高騰が続き、一層厳しい国内経済の落ち込みが続いている。地域経済の状況は依然として厳しく、物価や資材の高騰が市民の暮らしを直撃している現状を考え、市民の生活実態に配慮すべきであることから、両議案に反対するもの。



■請願第4号、5号（賛成討論）

教職員の実態調査によると、回答した教職員262人のうち、日田市に住居を置いている教職員は50代が最も多く、20代は3年で広域異動がある影響から4人しかいない。10年後には、日田市に住居を置き、地域をよく知る50代の教職員が4分の1に減り、地域とつながり、地域に根差した教育活動が続けられない心配がある。このような教職員の実態を考えると本請願は議会として重要視すべきものであることから賛成するもの。

請願第5号においては、沖縄辺野古米軍新基地建設に沖縄戦犠牲者の遺骨の眠る土砂を埋立てて使用する計画の撤回を求め、住民や遺骨収集ボランティアが去年の4月に防衛省と厚労省に要請した。沖縄戦で戦死した遺族の1人は「これは人間の行為ではない。遺骨は国のものではなく、戦没者と遺族のものであり、戦争で殺され、掘削で殺され、また、埋立てで殺されるのか」と訴える。戦没者の遺骨収集の推進に関する法律を遵守し、政府主体で戦没者の遺骨収集を実施することの要請は、全ての国民が賛同すべき事柄であることから賛成するもの。

■請願第4号、意見書案第4号（反対討論）

大分県における広域人事異動は、教員という人材が大分市を中心とした都市部に偏在している中、全県的な教育水準の向上を図ること。採用から早い時期に異なる環境で多様な経験を積ませ、若手職員の育成を図ること。同一地域、同一教育環境の中では生まれにくい教職員の意識改革を図ること。この三つの観点からの取組である。複数勤務地の経験は、キャリア育成においても重要であり、将来的な大量退職時代を見据えた若手職員の人材育成という目的であった。県内全ての子供たちが等しく、一定水準の教育を受ける環境を作り、守っていくためには、一定の広域的な調整としての広域人事異動は必要だと考えることから請願の採択及び意見書の提出に反対するもの。

■請願第6号（賛成討論）

インボイス制度が導入された場合、未登録の免税事業者は、インボイスが発行できないために課税事業者との取引から排除され、廃業を余儀なくされる懸念がある。日田市内には、免税事業者が推計で1,600以上と言われており、地域に根差して活動する中小企業者の存在が不可欠であり、インボイス制度の実施延期を求める必要があることから賛成するもの。

■請願第5号（反対討論）

戦没者の遺骨収集は政府が戦没者の遺骨収集の推進に関する法律に基づく基本的な計画等に沿って実施しているが、基地建設の具体的な進め方については、地元の事情を押し量りつつ、政府と沖縄県とで十分議論しながら進められているものであることから反対するもの。

■請願第6号（反対討論）

インボイス制度によって税額が明確になることや、中小企業者にとっても適正な価格転嫁を行いやすくなるといったメリットが期待されており、複数税率の下で適正な課税を行うために有効な制度と考える。国に納めるべき消費税が事業者の手元に残る、いわゆる、益税を防ぐことにもなり、消費税が現在抱えている矛盾を解消し、取引の透明性を高め、消費税に関する不正やミスを防ぐことが期待できる公平公正な制度であることから反対するもの。

■議員提出議案第6号（反対討論）

条例案は、本人からの直接収集や思想、信条、宗教などの取扱いに細心の注意を必要とする個人情報の収集禁止を原則としていない。また、議会が管理するコンピューターをオンラインで外部につないで、議会外の者へ情報を提供することを禁止する原則もなくなり、情報漏えいの危険性が増えることから反対するもの。

令和4年第1回臨時会の結果

去る令和4年11月7日に開かれました臨時会の結果をお知らせします。

■臨時会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
認定第1号	令和3年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)
認定第2号	令和3年度日田市公営企業会計決算の認定について	認定(全会一致)
議案第67号	専決処分(令和4年度日田市一般会計補正予算(第4号))の承認について	原案承認(全会一致)



令和3年度 決算の概要

9月定例会で付託された令和3年度一般会計決算認定のほか、特別会計、公営企業会計について、10月に決算審査特別委員会で審査をしました。

11月7日に臨時会を開催し、決算審査特別委員長から審査内容の報告の後、採決を行った結果、「認定」となりました。

使われたお金（一般会計歳出決算額）
420億5,352万6千円

特別会計歳出決算額 168億6,401万4千円（7会計分）

●普通会計における財政分析の状況

区 分	令和2年度 指数等	令和3年度	
		指数等	順位
財 政 力 指 数	0.412	0.409	6 位
経 常 収 支 比 率	93.1%	88.5%	5 位
実質公債費比率	4.1%	4.1%	2 位

※普通会計とは、一般会計と特別会計の一部を合わせたものです。

※順位は、県下14市中です。

●審査日程

10/7(金)：全体会

・総括質疑

10/7(金)～21(金)：分科会

・実際の審査

10/28(金)：全体会

・分科会長報告

・質疑

・討論

・委員会としての採決

●水道・下水道事業（公営企業会計）

水道事業	執 行 額
収益的収入	13億5,996万9千円
収益的支出	12億6,618万4千円
資本的収入	1億7,578万3千円
資本的支出	4億7,509万5千円

下水道事業	執 行 額
収益的収入	19億9,229万7千円
収益的支出	19億6,271万1千円
資本的収入	8億6,876万2千円
資本的支出	13億4,941万8千円

※決算額や各指数の詳細は、広報ひた令和4年12月1日号（6～9ページ）に掲載されていますので、そちらを参照してください。

●審査結果を早期に報告するため、臨時議会を開催しました

12月以降は市における新年度予算の編成作業が本格化する時期です。新年度予算編成において決算審査の結果を反映しやすくすることを目的に、昨年度から早期に審査結果を報告するための臨時議会を、審査終了直後の11月初旬に開催しています。今年度は11月7日（月）に開催し、決算審査特別委員会委員長から審査結果の報告を行いました。

●決算審査特別委員会委員長報告の概要

令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策として実施された、一人当たり一律10万円の支給を行った特別定額給付金事業や、280MHz帯防災行政無線システム整備事業などの終了により、歳入歳出いずれも前年度と比較して大幅に減額した決算となっています。このような中、まちづくりや災害からの復興を行う事業、子育て、教育支援や商工、農林業支援など、市が行う事業がより効果的な施策となるよう、22項目について付言・要望し認定としました。また、水道・下水道事業においても計画的な老朽管の更新等を要望し、同様に認定しました。



市政に反映 皆さんの声



令和4年第4回定例会では、12月7、8、9日の3日間にわたり一般質問が行われ、16人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

【一般質問】

県道宝珠山日田線の 改良工事の見通しは



市政クラブ
財津 幹雄 議員

質問 県道宝珠山日田線の改良工事は殿町工区に着手しているが、完了はいつ頃になるか。

部長 現在工事中の区間220メートルについては、来年夏頃の完了を目指し、残りの区間も用地取得に努め、早期の完成を期すと聞いている。

質問 殿町工区が完成すれば小野地区は全線改良が終わるが残りの半分の見通しはどうか。

部長 国県道整備促進期成会連合会より県日田土木事務所長に要望しているが、まずは殿町工区の完成を最優先し、その後は利用状況や他線の緊急性など勘案して進めるとの回答であった。

質問 児童生徒数の適正規模については、児童生徒数が激減している

適正規模を検討すべき時期にきているのではないか。

教育次長 過去2回の検討委員会で小学校での複式学級の解消を目指す答申を受けて統廃合を完了している。中学校は県の方針と校区や通学距離の問題などで統合しない旨の答申を受けており、現時点では何らかの検討をする必要はないと考えている。



この先の改良はどうなる？

議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆さんのお越しをお待ちしています。





【一般質問】

大肥の郷
まちづくり将来ビジョン他



市政クラブ
佐藤 功 議員

質問 将来ビジョンにまとめられた取組は、どのように内容を精査し事業化するのか。

部長 住民等と行政の協働により、5年間の年次計画を立てたうえで事業化に取り組む。

質問 地域づくりのノウハウがある外部人材の活用方法は。

市長 事業が決まれば必要に応じてアドバイザーを配置したい。

質問 公共交通の在り方で、既存の交通網とBRT路線との役割分担を検討する予定はあるか。

部長 より効果的・効率的な運行を目指し、利用の曜日や時間帯などを地域住民や交通事業者と検討したい。

質問 交流人口の増加を図るため、生活路線とは異なる移動手段を検討すべきではないか。

部長 観光客のニーズも把握し、この地区にどう人を呼び込んでくるか検討したい。

質問 JR夜明駅周辺を、地域の方や訪問者が関心を持つエリアに変えることが必要では。

市長 問題は誰がやるかということ。身を削ってまでも地域のためにという形にはならない。

質問 地域振興の取組を支援するため、リノベーション制度の拡充や新制度は考えられないか。

部長 幅広い地域が支援を受けられる制度の必要性も認識している。まずは既存制度の拡充を協議したい。

質問 この他、総合的な子ども支援拠点整備事業における、執行部の判断・対応等について質問した。

【一般質問】

まちづくりに
子供の意見を生かす



日本共産党
日隈 知重 議員

質問 子供が参加する市民まちづくり集会を開催してはどうか。

部長 集会の目的は、参加した市民にまちづくり活動へ主体的に参加してもらうきっかけづくりである。開催手法を工夫しても対象年齢は15歳以上が適当と考える。しかし、具体的なテーマで幅広い意見を集約する場合は中学生まで対象とする検討もできる。

質問 子供の意見をまちづくりに活用する仕組みとして、若者会議・少年会議を作ってはどうか。

部長 若者会議がどういう形で運営されればいいのか一つの課題である。子供たちが、自分の暮らす町に積極的に関わっていく機会を作ることが必要だ。

質問 僕らのみらい会議が毎年



開かれている。例えば日田市みらい会議という名称で、若者会議・少年会議の仕組みを作ってはどうか。

市長 三隈高校生が「三隈マーケット」を商店街に出し、町との関わり、ものを作る経験をし、かけることなく、しっかりした場を設けていきたい。



【一般質問】

城内雨水幹線では、
これまでどのような
対策を講じてきたのか



公明党 松野 勝美 議員

質問 城内雨水幹線において、これまで講じてきた対策の内容を伺う。

局長 可能な限り多くの雨水を流すために、水路底を約50cmから1m掘り下げ、水路断面を大きくする工法を採用している。

質問 令和4年の豪雨でも、城内川の明王寺水門付近では、本流と幹線が合流する場所があった。いわゆるバックウォーター現象のようなおそれはないか。

局長 合流部と近接している明王寺水門についても、掘り下げた水路断面に対応できる水門に改修する。いずれの工事においても令和5年度に実施する予定である。

質問 国は経済的支援策として、出産・子育て応援交付金事業を

実施する。妊娠、出産時に10万円相当の給付を行うものであるが、市には迅速な対応をお願いしたい。

部長 早期に適切な対応ができるよう考えている。

質問 この他、子育て支援、ワクチン接種、小中学校の不登校について質問した。



明王寺水門

【一般質問】

小中学校の洋式トイレ
整備等について



市政クラブ 原田 裕文 議員

質問 小中学校の洋式トイレの設置について市の取組を伺う。

教育次長 小中学校の改築や大規模改修に合わせて洋式化を進めている。改築や大規模改修の予定がない学校は、計画的に戸別改修を進める。

質問 トイレ環境を改善するため、文科省の学校施設環境改善交付金制度があるが、市として活用する考えはあるか伺う。

教育次長 補助金については積極的に活用していく。

質問 山元立木価格の低迷により、山林所有者の経営は大変厳しい状況だが、市はどのような支援をしているか伺う。

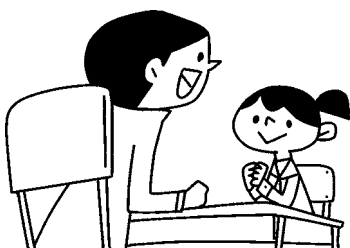
部長 造林低密度植栽の森林所有者負担の軽減対策等に取り組んでいる。

質問 立木価格の保障として森林環境譲与税の活用や国等への価格保障の要望はできないか。

部長 個人資産の形成や市場価格に混乱を招く支援や要望はできない。

質問 立木価格の低迷状況は、日田市林業の根幹を揺るがす事態で、早急に何らかの施策で、価格の保障を要望する。

この他、若者支援の状況と取組について質問した。





【一般質問】

物価高騰下における
賃金引上げ



市民クラブ
梶原 信幸 議員

質問 今、物価上昇に賃金の伸びが追いついておらず、実質賃金が下がりに続いている。物価高に苦しむ労働者への支援と地域経済を回すために、市としても賃上げを促進していくべきと考え

えるが、市長の見解を伺う。

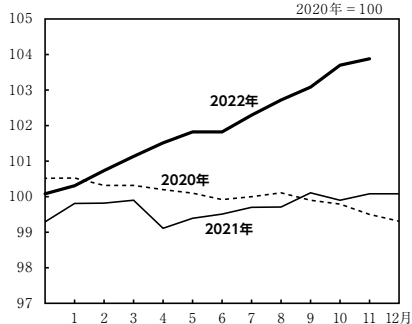
市長 現下の物価上昇局面においては、それに見合う賃上げが喫緊の課題である。加えて賃上げが新たな人材の確保につながり、企業の生産性を向上させ、さらなる賃上げを生むという好循環をつくり出すための未来への投資であるという意味でも、推進するべきと考える。

質問 中小企業者等が賃上げに踏み出すための市の取組を伺う。
市長 国や県の制度を活用しながら、市内の事業者が確実な利

益を生み出し、経済状況が改善されることで継続的な賃上げに踏み出せるよう、支援を進める。
質問 賃金引上げの機運が高まるよう国と同調してアピールをお願いしたい。
市長 今年の経済状況を見ると、全体としてはそんなに悪い状況ではないと考えている。利益の出ているところには、その対応をお願いしたい。

消費者物価指数（総合）の動き

2020年=100



(出典：総務省「消費者物価指数」より引用)

【一般質問】

日田市総合的な
子ども支援拠点整備計画を
再考する必要があるのでは！



市民クラブ
中島 章二 議員

質問 事業計画がはっきりしていないように見えるが考え方を伺う。

部長 大きな目標は相談窓口の充実である。機能として様々な入り口から支援につなげる事業である。

質問 支援拠点に來れない方々への支援をどう考えているか。

部長 電話や手紙などを入り口とすることは可能だと考えている。

質問 教育委員会が支援拠点に求める機能について伺う。

教育長 学校における教育活動や教育の視点だけでは解決しづらい問題についても、情報共有と支援内容の決定、関係機関へのつなぎ等がこれまで以上に迅速かつ的確なものとなることを

期待するものである。

質問 現時点では機能がはっきりしていないと考える。ゼロベースに戻り議論を深めるべきではないか。

「成年後見制度」

質問 制度利用へ向けた迅速な対応の必要性について伺う。

部長 関係機関との密なやり取りや、必要な手続きをする中で、もっと効率的にできるような、考えなければならぬと思う。





【一般質問】

パートナーシップ宣誓制度の導入



新世ひた 飯田 茂男 議員

質問 日田市は、令和5年1月1日より『パートナーシップ宣誓制度』を始めるが、その導入の経緯と概要について伺う。

部長 同性同士の婚姻が法的に認められていない日本で、自治体が独自に性的マイノリティの二人に対し、婚姻に相当する関係とする受領証等を発行し、様々なサービスや社会的配慮を受け易くする制度であり、性の多様性への理解を広め、その方々の生き辛さを解消し、暮らし易い環境を整備することを目的とし、総合計画の基本方針に基づき導入するもの。この制度は全国的に広がり、現時点で245の自治体で導入されている。

質問 この制度が、民間事業者等に与える影響について伺う。

部長 宣誓書受領証は、法律上の効果は生じない。事業者等に対して、特別な対応を求められるものではないが、交付を受けた方に対し、可能な範囲で家族同様の対応をお願いする。

質問 この制度の導入に対し市民には、賛否を含めその関心にも温度差が感じられることから、市長の考えを質した。



ホームページのご案内

<https://www.city.hita.oita.jp/shigikai/index.html>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。

12月定例会の会議録は、3月上旬から閲覧することができます。



本会議のテレビ中継

一般質問はKCVコミュニケーションズで生中継し、後日、録画放映も行っていますので、是非ご視聴ください。なお、閉会日についても後日録画放映を行っています。





【一般質問】

済生会日田病院に対する市の認識は？



無所属 中野 哲朗 議員

質問 昨年度末時点で長期借入金残高が38億円に上るなど、地域医療の中核である済生会日田病院の経営状況が相当厳しい。この状況に対する市の認識は。

部長 大分県西部医療圏域の唯一の公的病院として多くの役割を担う中、経営が厳しい状況にあることは理解をしている。

質問 公的病院としての強い使命感と責任感を貫くことにより、経営的にはますます厳しくなる。その実態に対する市の認識は。

部長 公的機能を持って、市民の役に立つ部分を担っているところは、協議をしていきたい。

質問 済生会日田病院は、コロナ禍でも大きな役割を果たし、地域になくてはならない中核的な医療機関だ。医療体制を強化



済生会日田病院

し、市民の健康増進と福祉の向上を図ることは、公益上必要な施策だと考える。その役割と機能に対し、運営経費の助成など財政的な支援を考えられないか。

市長 地域の公的医療機関としての存在は非常に大切。対象となる範囲を含め、協議するよう指示している。議会にも説明できる状況が早めにできればよいと思う。

【一般質問】

今後の観光景気回復に向けイベントなど積極的な取組を



市政クラブ 安達 明成 議員

質問 今後の観光景気回復に向けての対策と取組について伺う。

部長 感染対策を徹底しウィズコロナの下での安心・安全な祭り、イベントの開催に努める。

令和5年の国際自転車ロードレース大会ツール・ド・九州、令和6年の福岡・大分フェスティバル・シーズンキャンペーンを絶好の機会と捉え、近隣エリアに加え、首都圏、大阪都市圏の誘客につ

なげ、観光消費の拡大を図る。

質問 高塚愛宕地蔵尊でのプロジェクションマッピングについて、成果と今後の取組を伺う。

部長 若い世代の集客を目的に、県事業を活用して、観光協会が地元と協力し取り組んだ。

夜間特別拝観として光の演出により、神秘的な光あふれる空間

を多くの人が楽しんだ。集客面でも一定の効果があり、観光協会や地元の方の協力により、継続できるイベントになればと考える。

質問 水郷ひた河川を美しくする条例の周知の取組状況を伺う。

部長 ホームページや広報ひた、各種イベントでの啓発活動など、様々な機会を通じ市民への条例周知を図っている。

質問 この他、日田市のデジタル化の推進、健やかに暮らせるまちづくりについて質問した。





【一般質問】

「進撃の巨人」プロジェクト
支援事業の取組について



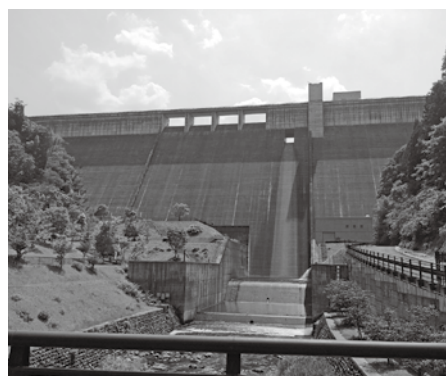
市政クラブ
宮崎 陽治 議員

質問 進撃の巨人による経済効果は20・5億円、波及効果は30・5億円という試算がでていいる。この事をどのように評価しているか伺う。

部長 かなりの経済効果が生まれていることは認識している。

質問 観光客の滞在時間について、2日間のスケジュールで進撃の巨人関連のスポットを回ると時間が余ると聞くと把握しているか。

部長 観光協会が実施したアンケートでも、JR日田駅前、銅像、進撃のミュージアムの来場者は多いが、その他の場所の立寄りには少ないという結果が出ている。進撃の日田を満喫できる旅の提案ができるよう取り組む。



作品中の「壁」に見立て、銅像が設置された大山ダム

ある境港市では、妖怪づくしの町ごとテーマパークということ掲げ、官民協働による取組で成功している例と言われている。日田ならではの進撃の巨人による観光地化に向けた積極的な取組の検討ができないか伺う。

部長 様々な団体と連携を図り、誘客活動に取り組んでいきたいと考えている。

【一般質問】

文化財保護行政について



無所属
高倉 貴子 議員

質問 改正文化財保護法に基づき日田市は文化財保存活用地域計画を策定中だが、地域の主体をどう捉えるのか。

教育次長 地域の文化財を行政や所有者だけでなく関係市民やNPO等が関わる必要がある。

質問 計画策定には市民参画・情報発信や情報共有が欠かせない。重要文化的景観「小鹿田焼の里」の誤った行政指導はどのように信頼回復するのか。

教育次長 先行した豆田町の重要伝統的建造物群保存地区の制度と行政指導上の混乱があった。制度導入時以来の関係住民への説明不足も問題だと考える。

質問 改正文化財保護法のもとでの市長の認識を問う。

市長 行政側の認識がずれていない。今後は地元の皆さんで保存活用へ価値の判断を協議していきたい。

質問 市民に委ねる問題ではない。改正文化財保護法は、自治体が指定・未指定の文化財保護をより包括的・横断型で活用するための組織改編にも及び。景観、都市整備、観光、まちづくり連携や市民協働が必須だ。

市長 文化財は私財か公的な価値があるか、あらためて関係市民が議論すべきだ。

質問 改正文化財保護法は、私有か公有かの二元論を超え、地域総ぐるみで次世代や未来へ向け保存活用に取り組むよう求めた。いまだ地域計画が立案できない日田市文化財保護行政の認識が厳しく問われる。



【一般質問】

市営急傾斜地崩壊対策事業は
個人負担の軽減を



日本共産党
大谷 敏彰 議員

質問 市が事業主体となって実施する急傾斜地崩壊対策は地元個人負担が10%と大きい。中津市は5%。県も一か所に対する補助金を300万円から、令和3年度に500万円に引き上げ、市の負担は減った。個人負担を5%に軽減してはどうか。

部長 県内11市は10%である。日田市は事業費ではなく工事費の10%にしている。现阶段では考えていない。

質問 中小企業者等物価高騰緊急支援事業は、市税の完納を申請の条件としている。条件にしている自治体は多数ある。困っている事業者を支援するための施策だから市税完納の条件を止めるべきではないか。

部長 給付の条件としているが、

市税を納付期限内に納付することが困難で、徴収の猶予制度等の適用を受けている方は補助金を給付する。

質問 上下水道企業会計の工事入札では、免税事業者に対して、課税登録事業者になることを求めるべきではない。どう考えるか伺う。

局長 現在色々な動きがあるので、国や他市の動きを確認しながら多様な方法を考えていく。



【一般質問】

養豚場の状況等を
確認しながら、
臭気低減に取り組み



市政クラブ
梅原 竜也 議員

質問 山田原畜産施設の臭気問題は、現在も解決の糸口が見出せていない。現在の養豚場の状況を伺う。

部長 令和3年度の臭気調査において、豚舎から排出された臭気は空気よりも重く、塊となって地面を這うように台地から周辺の住宅地へ流れていき、悪臭苦情を引き起こしていた。

そこで専門機関から、他県でも取り入れられている遮蔽壁の対策の提案があり、養豚場と協議し、令和4年3月、遮蔽壁の設置を実施。遮蔽壁は、豚舎の周囲に2ミリ目のネットフエンスを設置するもので、悪臭はネットを伝って上昇し、上空の風により拡散することで住宅地に臭気が塊となって流れていくの

を防ぐことを目的にしている。

質問 9月と11月に臭気調査を実施したが今後の取組を伺う。

部長 協議会や養豚場とも、今回の調査報告の情報を共用し、引き続き臭気や養豚場の状況も確認しながら臭気低減に取り組んでいく。

質問 この他、プレミアム商品券、物価高騰緊急支援事業について質問をした。





【一般質問】

不育症について
正しい知識や助成制度の
周知を！



新世ひた
居川 太城 議員

質問 不育症は妊娠をするものの流産や死産を2回以上繰り返す、結果として子供を授かる事ができない状態である。流産を繰り返す反復流産や習慣流産も不育症に含まれている。不妊症と混同しやすいが、不育症の正しい知識や助成制度の周知を行っているか伺う。

部長 不育症の正しい知識や助成制度の情報発信は行っていません。今後は不育症についての様々な検査や治療、相談ができるかの情報発信をしていきたい。
質問 不育症の検査において、国の制度で全額を賄えない部分を市独自で助成することは検討できないか伺う。
部長 必要であれば対応も考えたい。



質問 検査後には治療が必要となるが、この治療についても保険適用の有無に関わらず全額もしくは一部でも市独自の助成制度を検討できないか。
部長 調査させて頂く。
質問 市として県へ不育症治療助成制度の要望ができないか伺う。
部長 必要に応じて県に要望していきたい。

【一般質問】

中山間地域の持続可能な
地域づくりへの取組



新世ひた
三苫 誠 議員

質問 中山間地域である市の周辺部の人口減少の状況について、市町村合併時の平成17年と令和4年を比較してみると、振興局管内で44パーセント、振興センター管内で33パーセント減少しており、特に、上津江・中津江地域では合併時の約半数となっている。このような状況の中で、持続的に安心して暮らせる地域をどう創っていくのか。

部長 持続可能なまちづくりを行っていくためには、地域の課題に取り組む人材の確保と組織の育成が重要であり、今後も地域住民、住民自治組織や集落支援員、各振興局・振興センターとも連携しながら地域への支援を行っていく。
質問 持続可能な地域を目指す



ためには、地域の特徴を活かした農林業等地場産業をさらに振興することによって、経済活動を活発化させる必要がある。市長の考えを伺う。
市長 地場産業を育てることは、大きな課題と認識している。観光振興等も含めながら、地域の持つ特性を活かした産業を育てていきたい。



報告

各委員会の
議案等の審査結果

● 総務環境委員会 ●

補正後予算総額407億9549万2千円（昨年同時期411億6693万7千円）

● 12月補正

歳入歳出にそれぞれ11億6757万6千円を追加し、補正後の予算総額を407億9549万2千円とするものです。

● 焼却施設等更新事業

（1億716万3千円）

この事業は、新清掃センター建設用地内において、埋蔵文化財の試掘調査を行った結果、本調査が必要となったことから委託料等の費用を補正するものです。今回の調査は、総面積が1万4367㎡となっており、令和5年1月から9月に発掘調査、令和5年度から7年度まで整理作業、令和8年度で報告書作成というスケジュールが示され、

併せて当該地の造成工事は令和5年10月頃から開始との考えも示されました。

その調査の結果次第では、今後の施設設計画の進捗にも大きく影響するものですが、審査の過程では造成開始の時期には影響ないとの執行部の認識が示されており、その判断には強い懸念が生じることを指摘しました。今後においては、発掘調査の状況並びに出土品評価について適宜情報提供を行うと共に、この事業に係る全般的な内容についても市民や議会の理解を得るための適宜適切な情報提供に努めるよう重ねて要望しました。また、発掘作業には延べ2300人近い作業員を必要とすることから地元雇用にも配慮するよう要望しました。



● 教育福祉委員会 ●

総合的な子ども支援拠点
創設事業補正予算を否決

この事業は、18歳以下のすべての子どもや妊娠中の方及びそれらの家族などが利用する「相談支援機能」「一時預かり機能」「遊び・交流機能」「学び・情報発信機能」を備えた支援拠点を整備する事業です。

この事業について教育福祉委員会では、1年以上をかけて慎重な審査及び先進地視察等の研修を行ってきました。委員会では、「子ども・子育て支援事業を否定するものではなく、必要な支援内容の課題整理や情報収集が不十分ではないか、教育の視点を踏まえた福祉と教育が一つになった機能や人員配置の整理が不十分ではないか等の意見がありました。

支援拠点創設検討委員会においては、事業ビジョンに曖昧な

部分があり、事業費の説明もされておらず、委員の意見を聞くだけで協議内容の集約・意見統一も示されていません。

その結果、支援拠点に必要とされる機能の精査がまだ不十分であり、支援拠点の利用者数の見込み、必要なスキルを持つ人材配置、職員の連携体制、費用対効果など、まだまだ議論の余地が多いことを確認しました。したがって、将来にわたって施設整備の必要性を否定するものではありませんが、実施設計委託料（1865万6千円）は、現行の施設整備計画案（4億1690万円）につながることから、現時点においては認められないとの判断に至り、実施設計委託料を減額する修正案を全会一致で可決しました。





●産業建設委員会●

新型コロナ、物価高騰対策等、
各種事業の効果的な周知を！

●地域消費喚起プレミアム商品
券支援事業

(新規2億8119万8千円)
新型コロナウィルス感染症の
影響や、不安定な社会情勢に伴
う原油価格・物価高騰により景
気下振れのリスクが高まってい
るため、物価上昇の影響に伴う
価格転嫁を円滑に進め、中小事
業者等の経営が安定するよう、
また、地域内の個人消費の支
えを図るために、プレミアム商
品券の発行を支援するものです
。審査では前回から実施されて
いる購入方法のWeb化や、代
理申請時の本人確認方法等につ
いて質疑が行われたところです
。特に購入方法のWeb化につ
いては、現状、パソコンやスマ
ートフォンに不慣れなため手続
きに支援を要する方がいるため、

設置予定の購入サポート窓口を
周知することが必要との意見が
ありました。また、プレミアム
商品券を利用できる店舗を増や
すためにも、新規に登録する事
業者へ向けたアプローチも必要
です。

先に実施されている中小企業
者等物価高騰緊急支援事業など
の緊急支援についても、個人や
事業者問わず、事業内容を知っ
てもらい、活用されることで事
業目的を達成できるものである
ことから、その周知方法につ
いては随時見直しを行い、最大限
の事業効果につながる取組とな
るよう要望しました。



意見書

次の意見書を採択し、関係機
関に送付しました。

●教職員が保護者や地域とつな
がり、地域に根ざした学校教
育活動ができるための環境づ
くりを求める意見書

教職員がしっかりと腰を据え
て保護者や地域とともに、子供
たちに豊かな教育を保障する教
育活動をしていくために、次の
事項について取り組むことを強
く要望するもの。

1. 教育の継続性、効果的な教
育活動、保護者や地域と学校
の連携、教職員の労働安全衛
生等の観点から、頻繁かつ行
き過ぎた広域異動は行わない
こと。

2. 新採用教職員に対する人事
地域間異動や学校事務職員の
勤務替えを短期間で行わない
こと。

●沖縄戦戦没者の遺骨等を含む
地域の土砂を採取しないこと
等を求める意見書

今も遺骨の収集が国・県やポ
ランティアによって行われてい
る糸満市や八重瀬町の山野の土
砂が、辺野古新基地建設の海域
埋め立てに使用される可能性が
指摘されているが、多くの遺骨
等が残されている土砂を採取し
埋め立て等に使用することは人
道上許されるものではないこと
から、国に対し次の事項を実現
するよう強く要望するもの。

1. 沖縄戦戦没者の遺骨等を含
む地域の土砂を採取しないこ
と。
2. 「戦没者の遺骨収集の推進に
関する法律」を遵守し、政府
主体で戦没者の遺骨収集を実
施すること。





議会のこぼれ

ハラスメント防止に向けて
日田玖珠議長会議員研修会

この研修会は、日田市、玖珠町、九重町各議会相互の連携を図るため、例年11月に実施しているものです。

今回の研修会では、フリーアナウンサーの松本久美子氏より、「ハラスメント防止の留意点」事例と防止に向けた方策」と題し、日常でのハラスメント事例や対応についてご講義いただきました。



日田市固定資産評価審査
委員会委員の選任

次の方々を選任することに同意しました。

- 梶原 毅 氏 (高瀬本町)
- 財津加奈子 氏 (城町一丁目)
- 藤澤久美子 氏 (天神町)



第1回(3月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

2月27日(月)	本会議(議案説明)
3月 6日(月)	本会議(代表質問)
7日(火)	} 本会議(一般質問)
8日(水)	
10日(金)	本会議(議案質疑)
13日(月)	委員会(4年度分)
14日(火)	本会議(//)
15日(水)	} 委員会(5年度分)
~	
17日(金)	
20日(月)	
24日(金)	本会議(//)

意見募集

ひた市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

- FAX 22-8249
- メール gikai@city.hita.oita.jp



公職選挙法(寄附行為)に関するQ&A

虚礼廃止にご理解とご協力を!

- Q** 議員が、親族以外の選挙区内の市民へ、寒中見舞い等、時候の挨拶状を出すことはできますか。
- A** 答礼のための自筆によるものを除き、禁止されています。自筆とは、議員本人の内筆であって、パソコン等による裏面印刷のものは、自筆とは認められません。
- Q** 議員の配偶者等の親族が、葬式に代理出席し、議員の香典を届けることはできますか。
- A** 議員本人が出席する場合は禁止されていませんが、代理出席の場合は、罰則をもって禁止されています。

この他、議員が、団体の総会や地区の祭などで、寸志・ご祝儀やお酒を出すことや親族以外へ贈るお歳暮・病氣見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。



表紙のみなさん

今回は、前津江町の地域おこしグループ「天空の里・あかいしゅかいくらぶ」を紹介します。

発足のきっかけ

前津江公民館主催の「ふるさと講座」をきっかけに、自分たちが住んでいる町をもっと知りたい、知ってもらいたい、そんな思いをもった会員が集まり、平成28年6月に、会が発足しました。

地域の歴史・文化の再発見

自分たちの住む地域の地名の由来といわれる巨石や、一年中絶えることのない湧水、明治時代に落成した石橋等生活を支えてきた地域の遺産を再発見・再開発しようと周辺の草刈りや看板、東屋の設置などの環境整備を行っています。

イベントとして、地区内外の人に「地域の良いところをもう一度見直してみませんか」をスローガンに、地域の「再発見ウォーク」を開催しています。

「ウォーク」を開催しています。第2弾となる再発見ウォークは、歴史的価値のある練石積堰堤群、

硫黄精錬所跡、愛宕地藏尊等の

説明を聞きながら散策を兼ねた

見学が行われ、地域内外からた

くさんの参加者がありました。

この催しの特徴は、地元の小中

学生・学校、移住者、地域外で

暮らす前津江出身者に参加を呼

びかけ、地域再生のため、地域

ぐるみで取り組んでいることで

す。



看板設置の作業

公民館や地域企業との連携

歴史や文化の再発見の取組については、前津江公民館と連携しながら活動しています。また、前津江町の特産品をアピールするため、スノーピーク奥日田で、

来訪者に野菜や農産加工品を販売、食品加工会社など地域企業との連携を図り活動しています。

これからの活動

人口減少が進んでいる山あい

の地域ですが、移住者が増えた

ことで、小学校の児童も増えた

という明るいニュースもありま

す。あかいしゅかいくらぶ主催

で移住者との交流会を行い、地

域の良さを知ってもらい、定住

してもらえるような活動を計画

しています。今後も、前津江町

の歴史や文化を活用した活動を

主に、地域に根ざした新しい取

組も行いながら情報発信してい

きたいとのことでした。



赤石再発見ウォーク

編集後記

市議会では、市議会だよりを年4回発行しています。議会活動について、全てをお伝えすることは出来ませんが、議会報編集委員会としても、工夫しながら「伝える」努力を重ねていく必要があります。

今回の表紙の皆さんは、地域の歴史や文化を地域おこしに役立てる取組を重ねる「天空の里・あかいしゅかいくらぶ」の活動取材しました。

この団体は、U・ターナー者、移住者、二拠点居住者と地域在住者が構成された、山間地では新しい形の地域おこしグループです。女性の加入者が半数を占め、女性の視点も活動に活かされています。移住者の増加、関係人口の拡大にも取り組んでおり、さらに成長が期待されます。

(議会報編集委員会委員

三苦 誠)

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎028214)へ。市議会だよりは、環境に優しい「植物油インク」を使用しています。

